

第4回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日時	平成24年9月11日(火) 13:30~16:30
場所	豊橋市役所 講堂、東86会議室
報告者	鈴木啓靖
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

2 会長あいさつ

○議事録署名者 寺田康生委員、福岡吉彦委員

3 議題

(1) 豊橋市市民協働推進補助金申請者による公開プレゼンテーション

(2) 豊橋市市民協働推進補助金審査会

※審査内容については、個人情報等も含まれるため非公開

事務局：オアシスG.J.Bについては、保健所より「調理して食べ物を提供するような場合はその都度保健所に相談してほしい」との意見があり、団体に注意事項として伝える。

委員：嵩山子ども三味線クラブについても、購入した備品を長期間使用できるように、きちんと管理するよう注意事項として伝えて欲しい。

(3) 豊橋市市民協働推進補助金の見直しについて

○補助率の変更があった場合の実施方法について

委員：くすのきのみ募集期間が長いことについて、違和感があるし、理由を聞かれる可能性も高い。つつじ・ハードも同じ募集期間にした方がよいのでは。

事務局：全部同じ募集期間にすると、書類確認や各課への調査を全部短い期間でやらなければならない、事務負担を分散させるためにも募集期間を分けている。

会長：通常、締め切り直前に書類を提出する団体は多いのか。

事務局：ほとんどの団体が前日か前々日に提出するので、記者発表の前に補助率の変更を知らずに提出する団体はおそらくないと思う。

会長：実施方法については案2ということで決定してよろしいか。

委員：異議なし。

○補助金の計算方法について

委員：他の補助金を得るということは、団体にとって2分の1の負担を少しでも軽くするためだが、B案だと市の補助金額は減るかもしれないが、他の補助金を得たことによる団体側のメリットが少ない気がする。

委 員：他の補助金でも対象外経費は市民協働推進補助金と似たような形になっていると思われるので、そうすると分かりやすいのはB案だと思う。

委 員：他の補助金をもらうことで、団体の持ち出しは増えるかもしれないが、事業の規模を大きくできると思う。

会 長：運用は難しいが、AとBのどちらでも、これまで他の補助金をもらうと市民協働推進補助金がもらえなかったことから言えば、メリットになっている。

事務局：団体にとってはA案の方が分かりやすいと思うが、市の財政を考えるとB案ということもあり、よく検討したい。精算方法も含めてどちらの案が良いのか、メリット・デメリットを分析して、次回審議会までに提示する。

4 その他

次回は平成24年10月24日（水）13時～予定

5 閉会

平成24年10月24日

議事録署名者

寺田 康生 ㊟

福岡 吉彦 ㊟

第4回豊橋市市民協働推進審議会出席者名簿

NO	氏 名	選 任 区 分
1	あおき あきこ 青木 晶子	公募 (とよはし女性フォーラム)
2	いとう まりこ 伊藤 麻里子	国際交流協会から推薦 (CSN豊橋(愛知大学4年))
3	いわさき まさや 岩崎 正弥	学識経験者 愛知大学地域政策学部教授
4	すずき としい 鈴木 稔依	豊橋商工会議所女性会から推薦 (豊橋商工会議所女性会会長)
5	せがわ ちとし 瀬川 千敏	公募 (豊橋防災VCの会)
6	てらだ やすお 寺田 康生	市民センター指定管理者から推薦 (NPO法人 NPO愛知ネット)
7	ふくおか よしひこ 福岡 吉彦	豊橋市社会福祉協議会から推薦 (豊橋市社会福祉協議会職員)

※夏目章一委員は欠席

《事務局》

市民協働推進課 課 長 金子 尚央
主 幹 中山 久美子
課長補佐 河合 幸子
主 査 内藤 政宏
主 査 中澤 浩英
主 査 吉田 節子
主 事 加藤 純子
主 事 鈴木 啓靖